

総会経過概要

第 75 回全国労働委員会連絡協議会総会は、令和 2 年 11 月 19 日(木)から 20 日(金)にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響により初めて Web 会議で、中労委及び都道府県労委の公労使各側委員、事務局長のほか、各事務局職員を含め、約 540 名の参加者により開催された。

19 日には、岩村正彦全国労働委員会連絡協議会会長(中労委会長)の開催挨拶、三原じゅん子厚生労働副大臣のビデオレターによる挨拶の後、岩村会長が議長となり、公労使各側副議長の指名が行われ、公益側副議長に畠山稔委員(中労委)・森戸英幸委員(中労委)、労働者側副議長に久保潤一郎委員(東京)・井手雅彦委員(佐賀)、使用者側副議長に白川憲一委員(大分)・寺下一之委員(青森)がそれぞれ指名された。

続いて、荒木尚志全労委運営委員長(中労委・公)から前回総会以降の運営委員会審議経過、今後の労働委員会の在り方検討小委員会及び作業チームの議論のまとめについての説明が行われ、了承された。また、吉本明子全国労働委員会連絡協議会事務局長(中労委事務局長)から、労働委員会の活動状況についての報告が行われた。

続いて議題審議に入り、第 1 議題として、「同一の労働者からの複数回にわたり申請される個別労働紛争あっせんへの対応について」(関東ブロック公労使提案)の経験と見解の交流が行われた。

提案理由説明

松岡 英子(長野・公)

意見発表

高林 藍子(高知・公)

田中 穂(鳥取・労)

星 幸一(宮城・使)

20 日には、第 2 議題として「労働委員会における IT 化に向けた取組等について」(中国・四国ブロック公労使提案)の経験と見解の交流が行われた。

提案理由説明

村田 毅之(愛媛・公)

意見発表

本久 洋一(神奈川・公)

池田 寿和(奈良・労)

別所 浩己(三重・使)

その後、「労働紛争の解決と労働委員会の役割」と題して、山川隆一氏(前中央労働委員会会長)による講演が行われた。

午後からは、第 3 議題として「不当労働行為事件の偏在に伴う課題への対応策について」(近畿ブロック公労使提案)の経験と見解の交流が行われた。

提案理由説明

宮崎 裕二(大阪・公)

意見発表

有田 佳秀(和歌山・公)

鈴木 圭(岩 手・労)

橋本 昌道(東 京・使)

牧田 辰夫(愛 知・労)

山下 昇(福 岡・公)

宮城 定幸(鳥 取・使)

議題審議終了後、次期運営委員の指名が行われ、岩村会長の閉会挨拶をもって総会は終了した。

総会終了後、第1回運営委員会が開催され、運営委員長に荒木尚志委員(中労委・公)が、副運営委員長に岩谷直子委員(青森・公)がそれぞれ選出された後、令和3年の総会に関する事項等について、協議が行われた。